

若建水第 428号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

若狭町長 千田 千代和



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

みだしのことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福井県若狭町

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、その整備は町民が長年にわたり熱望しているところである。

高齢化、少子化が進展している中、活力ある地域づくり・まちづくりを推進するとともに安全で安心できる社会の実現を図るためには高速道路を含む道路整備はより一層重要となっている。

しかしながら、地方部での道路整備の遅れにより大型車のすれ違いができない道路が未だに存在するなど、日常生活はもとより産業・経済に深刻な影響を及ぼしている。更に、歩道の未整備による歩行者・自転車事故が多いなど、交通事故、救急医療施設への搬送時間、災害に対する対策など、生命に係わる多くの課題が残されている。

また今日までに整備された道路構造物（橋梁等）は、老朽化が進み数年後には通行止めを実施するなどの問題も発生しており、計画的な維持管理が緊急の課題となっている。

これらの問題を解決し地域の活性化を支え、安全で安心な生活を確保するために、道路整備を計画的に着実に推進していかなければならない。そのために次の事項を要望する。

1. 地域の道路整備に対し幅広いニーズを汲み取り、必要な道路整備や交通安全対策、維持管理が停滞することなく着実に推進できるように必要な財源を確保すること。
2. 緊急医療施設への搬送時間短縮を図るための道路網等、高規格幹線道路の整備を緊急かつ早急に整備すること。
3. 日常生活を支える生活幹線道路（買い物・通勤・通学等）の整備、通学道路の歩道整備、交通安全対策を着実に進めること。また、地方のニーズに弾力的に応えられる財源確保。（地方道路整備臨時交付金の存続・拡充）
4. 豪雨や豪雪等の自然災害にも対応できる災害に強い道路網を確保するとともに、日常生活を支える既存道路の適切な維持管理ができるよう必要な予算の確保・充実を図ること。

今後の道路行政についての意見・提案

② - 1 地域の現状と抱える課題

福井県若狭町

○現状

1. 現在の道路は、自然災害に対し脆弱であり、集落の孤立等が発生する危険性がある。
2. 生活に密着した道路が未整備。
3. 高速道路（舞鶴若狭自動車道）の早期完成
4. 維持管理問題

○課題

1. 町内には、落石や土砂崩壊などの危険から大雨により通行止めとなる道路が国道・県道を中心に存在する。このような通行止め区間の存在により、異常気象時に孤立集落の発生や迂回を強いられるなど、日常生活や産業活動、救急医療などに大きな障害が生じる。
2. 市街地における幹線道路が未整備であるため、高齢化社会に対応できていない歩行空間（歩道未整備区間）が多くあり危険である。又、密集市街地の防災区間としての整備が急務である。
県内の第3次医療施設は福井市内にしかないため患者搬送時のアクセスが長く60分以上かかる。
3. 高速道路が繋がっていないため、円滑な人・物の流れに支障。高速道路の全線完成により、京阪神からの観光客の増加が期待。また、企業立地の後押しとなる。
4. 若狭町管理道路では、20年後には橋齢50歳の橋梁が50%を超え、修繕等も急増することが懸念される。

今後の道路行政についての意見・提案

③ - 2 地域の目指すべき将来像

福井県若狭町

若狭町総合計画ではまちづくり計画の将来像として「輝きと優しさに出会えるまち」を掲げている。

若狭町は、近畿圏の玄関口としての歴史や伝統と、三方五湖に代表される自然の豊かさなど、地域が持つ魅力を融合し未来につなげるものでなければならない。これらの特性が融合し重なり合うことで、新しい魅力や交流が生まれ、地域の活力へと発展していく。そのためには、道路ネットワークの形成が欠かせない。福井県内及び京阪神地方との広域的な連携の強化を図るため、舞鶴若狭自動車道や国道 27・162・303 号などの広域的な幹線道路網整備を促進するとともに、県道常神三方線・町道 10 号線などの町内外を連結する幹線道路網の整備促進に努めていく。

また、集落内では十分な道路幅員を確保するほか、歩道の整備や段差解消などのバリアフリー化、施設への適切な誘導案内など、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの道路環境づくりに努めるとともに、楽しみながら歩くことのできる散策道の整備など歩行者優先の道路整備に努める。特に通学路については、安全で安心な通学環境を確保することが必要。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福井県若狭町

○重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	常神半島の県道常神三方線のトンネル化促進。 13kmの間に3箇所のトンネルを新設	距離が半分に、所要時間も3分の1と大幅に短縮することにより日常生活や産業活動、救急医療など大きく改善される。 異常気象時の孤立集落の発生が回避される。	